

ゆうあい

お加味株に気をつけながら
 1ページにやむなく減量

12月の出来事

12月11日	作業日
25日	作業日
1月8日	作業日
11日	新成人祝い
22日	作業日

生活介護の様子

DM封入、ふたの向き合わせ、体力づくり、書き初め、季節のぬりえを行いました。

就労継続支援B型の様子

お菓子の香梅さん、インターナショナルミカさん、河田印刷さん、富士甚醤油さん、山内本店さん、釜屋さん、チューインさん、オニオンさん、九州パール紙工さんより作業を受注しました。自主製品は、平成さくら支援学校さん、クラブおおつさん、若葉野球クラブさん、西合志南野球クラブさんより受注しました。

2,3月の予定

2月12日	作業日
26日	作業日
3月12日	作業日
26日	作業日



祝ご成人

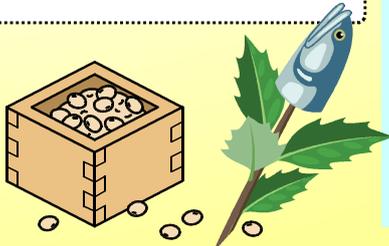


一月十一日(火)に新成人の猪崎さん、後藤さんの成人の祝いを行いました。照れながらでしたが、2人とも成人の誓いを話してくれました。先輩の女性利用者より、お祝いの花束が送られ、利用者全員から、あたたかい拍手が送られました。あまりいい話の無い近頃に暖かい話題を提供してくれ、利用者、職員ともにほっこりとした時間を過ごしました。



職員一行月記
「私事で恐縮です」

- 今年チャレンジ、たくさんするぞ! 【E】
- コロナ禍により外出が億劫になってます。 【K】
- 現状維持に努める! 【吾】
- 楽しい事が出来ない(^_^) 【☆】
- 頑張るぞ!! 【レバー】
- 元気よく行きましょう 【喬之介】



坂本がざれごとをつれづれと
「戯れ言徒然」 第一六七言

これを歴史と呼ぶか?
 毎年、遅ればせながらあげましておめでとうございませぬ。2022年こそいい年になるよう、願っております。

さて、新年早々ですが、今回のゆうあいは嗜好についてのお話を。私が愛煙家になったのは、1980年代中頃です(あえて、濁させて頂きます)。吸い始めた頃は、マンガにしてもテレビ、映画でも、喫煙シーンは当たり前のようにながれ、かついいとか不良っぽいやとか勘違いから始まったように記憶しています。

その頃は、街角でも建物の中でも愛煙家を見ることができました。しかし、時期を同じくして嫌煙が叫ばれはじめ、運動と化していきませぬ。そこからは、愛煙家の苦難の歴史が始まりまして。90年代には分煙の流れが、大きくなり、愛煙家は

建物の中で分離されます。2000年代になると喫煙スペースなるものが登場し、隔離されます。そして、改正受動喫煙防止法の施行により、建物や敷地から追い出され現在に至ります。

当時は、180〜220円程度と記憶しているタバコですが、いまでは約2.5倍の値段となっております。私の中でも脱煙(煙から離れる)の考えが無くは無かったのですが、千円で3個替えなくなったら、断念。千円で2個買えなくなったら、断念。タバコの意思を断念する歴史となりまして。

昔、電車や新幹線、バス、飛行機にまで各座席に灰皿が設置されていたことを、知る人は少なくなりました。「昭和は遠くなりなりました」であります。

